



コミわが広場



私たちが、
か
つ
き
変えます。
創ります。
協働参画社会。

第96号(平成30年3月15日) ◆発行 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」会長 糟谷 英勝
◆事務局 TEL/FAX 266-0034 メール komiwaka@bj.wakwak.com HP:URL:<http://www.komiwaka.com/>

平成30年度の定期総会を4月21日に開催します

コミわかの平成30年度の定期評議委員会(総会)を以下の日程で開催します。コミわかでは平成30年度からの若槻のまちづくりを切れ目なく進めるべく「第二次若槻まちづくり計画(5ヶ年)」を立案し、関連規約の改正なども検討してまいりました。

定期評議委員会では、平成29年度の事業報告、決算、平成30年度の事業計画、予算、第二次若槻まちづくり計画などを審議しますので、皆さまの参加をお願いいたします。



●日時: 平成30年4月21日(土) 13時30分から ●場所: 若槻コミュニティセンター 体育館

冬のレクリエーション「段ボール巨大迷路」開催される

青少年部会では、1月28日(日)に冬のレクリエーション「段ボール巨大迷路」を北部中学校飯綱講堂で開催しました。インフルエンザ蔓延による影響も懸念されましたが、当日は身に染みる寒さの中、早朝より受付に行列ができるほど大盛況で昨年より多い125名の子どもたちが集まりました。約600枚の段ボールで作られた巨大迷路内には、バウンドシュート・魚釣り・空き缶積み、迷路外にはペットボトルボーリング・ストラックアウトのアトラクションがあり、獲得ポイントにより学年グループ上位3位には景品が出るとあって、真剣な眼差しで挑戦していました。また、長野市教育委員会所属の高校生シニアリーダーによる段ボールお絵かきコーナー・記念撮影＆バルーンアートコーナーが設置され、普段家の中では出来ない体験に子ども達は大喜び、目を輝かせて時間一杯遊んでいました。

この企画は今回で3年目で、「企画段階から迷路制作、運営まで全て子どもが中心におこなう」「役員・保護者は危険行為以外口を出さない」「大人は子どもの指示で支援として動く」の3つを基本方針に、9月から北部中学校の技術部が4回の企画会議を重ね、巨大迷路を設計し、アトラクションも知恵を絞り工夫を凝らし考え準備するという



「子ども達が主体」で作り上げたイベントでした。また、当日の「始めの会」と「終わりの会」の司会を技術部が立派に務め上げました。高校生シニアリーダーも中学生を懸命にサポー



トしてくれました。「楽しかった」の感想を、多くの子ども達が口にし、迷路を1回だけでなく2回、3回と終了時間ギリギリまで駆け巡っており、小さい子どもの中には「一人で挑戦してみる」と言って勇気をもってスタートする姿がみられ、とても楽しい時間を過ごしているようでした。最後に、来年の開催を楽しみにしつつ、参加者全員に配られた景品を手に大満足の子ども達は、来年も来たい!!と北部中学校を後にしました。

中学生のアイデアで、迷路で使用した段ボールは資源回収後に発展途上国への寄付として使うことになっています。当日の様子はテレビ局や新聞社が取材、長野市ホームページのインターネット市制放送の番組「長野きらめきチャンネル」でこの春放送される予定です。当日、来られなかった子どもにも観ていただきたいと思います。お楽しみに。 (青少年部会)



今後の行事予定

【積極的にご参加ください】

※コミわか行事等で撮影した写真は、コミわか広報活動に使う場合があります。

行 事 名	月 日	時 間	場 所	関連部会等
洋ラン栽培教室	3月19日(月)	13時30分～15時30分	コミュニティセンター 大会議室	若槻公民館
春休み子ども将棋講座	3月20日(火)	9時30分～11時30分	コミュニティセンター 三登山ホール	若槻公民館
お母さんの何でもトーク	3月23日(金)	10時～12時	コミュニティセンター 三登山ホール	民児協・福祉部会
若槻子ども文庫おはなし会	4月13日(金)	10時30分～12時	コミュニティセンター 三登山ホール	福祉部会